

13 ぱりっ子会議から市政への提言プロジェクト

通学路の「危険」をハッケン!
みんなの意見を市長へ!

ぱりっ子会議は、名張市内の子どもたちが自分たちの街をよりよくするために考える活動です。私たちは、子どもたちの話し合いに参加し、子どもたちから出た意見をまとめたり、イメージしやすいように言葉かけを工夫したりしながら、提言に結び付けられるようサポートを行っていきます。

メンバー数：3名
活動場所：名張市
実施主体：名張市子ども家庭室
担当教員：山本 智子（教育学部）
活動年度：R01, R02, R03, R04, R05



月別活動

- 6月 市政への提言の内容を考える(通学路の危険な場所はどこか、大まかに)、ぱりっ子モールに向けての準備
- 7月 市政への提言の内容を考える(通学路の危険な場所はどこか、詳細に)、ぱりっ子モールに向けての準備
- 8月 市政への提言の内容を考える(危険な場所として出た意見の現場に行き、写真を撮る)、ぱりっ子モールに向けての準備
- 9月 市政への提言の内容を考える(危険な場所として出た意見の現場に行き、写真を撮る)、ぱりっ子モールに向けての準備
- 10月 市政への提言の内容を考える(危険な場所として出た意見の現場に行き、写真を撮る)、ぱりっ子モールに向けての準備
- 11月 ぱりっ子モール開催
- 2月 市政への提言についての打ち合わせ
市政への提言及び反省会

1年の活動まとめ・考察（成果と課題）

私たちは、市長に提言する通学路の危険な場所について話し合う活動の司会と毎回の資料作成、市長に渡す提言書の作成や、ぱりっ子モールの準備・開催を手伝いました。

主な活動は市長に提言する内容を考える活動と提言書の作成でした。この活動で子どもたちは、「通学路の危険な場所」について話し合い、現場調査を行いました。始めに、普段学校へ登下校をするときに通りにくい、危ないと思った場所を聞き出しました。1回目は急だったため意見が少なかったため、持ち帰って次回までに友達に聞いたり自分で考えてくるように伝えました。2回目にはたくさん意見が出たので、ホワイトボードに地区ごとに分けて記入し、意見をまとめました。この話し合いから、司会進行の私たちと意見を出す子どもの1対1の会話ではなく、子ども同士の会話を促すことが大切であると感じました。次に、この話し合いがまとまると、実際に見てみたいと分らないということ、現場調査に2回向かいました。写真を撮ったり、実際見て思ったことを話し合うことで理解を深めていきました。現場調査に向かうまでは対策方法について意見があまり出なかったのですが、向かった後に聞くとかくさんの対策案が出ました。実際に「行動・体験する」ことの重要性に改めて気づきました。また2月末には、上記の活動をまとめて私たちが作った提言書を、子どもたちが市長に渡し、意見を伝える予定です。

活動を通して学んだこと

ぱりっ子会議の活動を通して、子どもの意見を聞き出す難しさや、自発的に考えている子どもたちの生き生きとした姿勢を見る嬉しさを体験しました。ぱりっ子会議は子どもたちの意見を聞き、その意見について考える活動であるため、まずは意見を聞き出すところから始めます。しかし、すぐに意見が出すことはなかなかできるのではなく、その内容自体の理解と具体的なイメージを持たせることが必要になると考えました。また、意見を持っている子どもがうまく伝えられない子や、話すのが苦手な子がいることもわかりました。そういった子どもたちの意見を引き出すために、言葉を工夫して聞いてみたり、私たちから話しかけたりして活動を進めました。話し合いを進めるうえで、私たちは解決策を提示するのではなく、子どもたちが自分で考えられるように質問することの大切さを学びました。

実施主体からのコメント

名張市子ども家庭室
ご担当者様

子どもが自分たちで集まり、運営する子ども会議、通称「ぱりっ子会議」で子どもたちの意見をまとめたり、シートを作成したり、ぱりっ子モールの手伝いをしたり、引っ張りだこでした。始めは、子どもたちと話すことに緊張している様子もありましたが、回数を重ねて行くたびに、子どもたちとも上手く話ができるようになり、自信を持って子どもたちと向き合っている様子が見えました。

一年間という短い期間ではありましたが、子どもたちの思いや同じ目線で活動できる貴重な経験をされたことと思います。この経験を今後に生かし、子どももまんなか社会の実現に寄与されることを切に願っております。

担当教員より

教育学部 山本 智子

子どもたちのためにサポートされているMIK運動様や市民のためにお仕事をされている名張市の方々の活動を通して、学生の日常では学べない体験ができたと思います。そして、さまざまな年齢の子どもたちの考えを聞いて、適切に対応していくことも簡単ではなかったと思います。これまでの体験を生かして、これから出会う様々な課題にも主体的に工夫して取り組んでいくことを願っています。

🏠 こんな人におすすめ!

- ・地域に出て活動してみたいという人
- ・子どもと触れ合う体験をしたい人



成果物 / 制作物

提言書

私たちは、ぱりっ子会議で「通学路の危険な場所」について話し合い、その場所に行って調査をしました。キケンな場所は2か所あります。

1つ目は、「地獄坂」と呼ばれているところです。緑が丘から殿科町里の交差点への坂のこぼす雨・雪が降った日や、道が凍っている日はとても転びやすく危ないです。

2つ目は、百合が丘小学校・体育館側の門から入るとレンガががらりとあるところです。レンガががたがたと雨が降った日は水が溜まりやすく歩きにくいです。

このキケンな2つの場所を安全にできるようにしてほしいです。そして、私たちぱりっ子以外の人にも通学路の危険な場所について聞いてほしいです。
よろしくお願ひします。

名張市長 北川 浩文 様
2024年2月25日
ぱりっ子会議 一同